

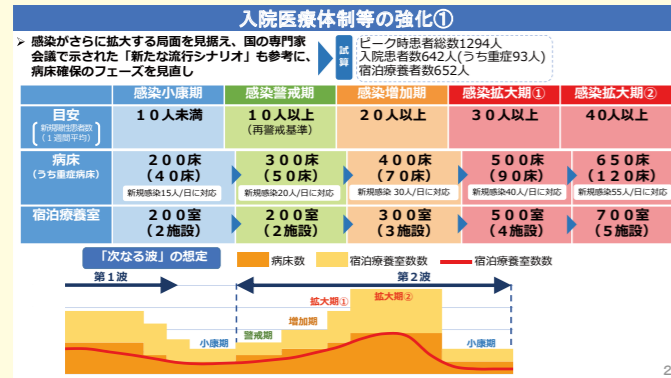
新型コロナウイルス感染症対策に全力!!

緊急事態宣言で権限が強化された県知事に度々申し入れを行い、様々な支援策が前進しました!!



医療体制の強化と拡充

感染がさらに拡大する局面を見据え、国の専門家会議で示された「新たなシナリオ」を参考に、「感染拡大期②」(新規陽性患者数1週間平均40人以上)のフェーズを追加。そのこと踏まえた体制の構築(1日55人の新規患者数に対応)病床数(650床、内重症120床程度)の確保、宿泊療養(700床程度)確保。(7月補正予算額10,071百万円)



検査体制の拡充

PCR検査機器の設置を支援
現行1500件/日⇒変更2500件/日 (7月補正予算額285百万円)

医療・介護・障害等福祉の従事者約50万人に慰労金支給拡充が実現!

6月補正予算で計上されなかった「国基準の直接感染者を受け入れることがなかった医療機関、患者が発生しなかった介護障害福祉事業所の職員にも5万円の慰労金を支給する」として国に準じて支給するよう会派の代表質問・申し入れを行い7月予算に計上される運びとなりました。(7月補正予算額 26,544百万円)

問い合わせ先：
兵庫県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業事務所 (078-362-3056)

区分	医療	介護	障害	救護	児童福祉
要件	①対象期間(3/1~6/30)中に10日以上勤務かつ②患者・利用者と接する従事者	実際に患者等を受入れ	感染者が発生、濃厚接触者に対応	—	感染者が発生
対象施設	20万円 10万円 5万円	県から役割を設定	実際には患者等を受入れず	—	—
対象者	約19万人	約22万人	約9万人	約50人	約100人
想定額	20,094百万円	—	15,905百万円	—	19百万円
(今回補正額)	(10,684百万円)	—	(15,860百万円)	—	(—)

休業要請事業者に経営継続支援金の拡充

県の休業要請に応じた事業者へ経営継続支援金の支給について対象を今年3月創業が含まれないことや、売り上げが大幅に減少しているにも関わらず休業要請が出されていない100㎡以下の学習塾や、飲食店などにも休業要請範囲を拡大等により支給対象を拡充しました。

「がんばるお店・お宿応援事業」の予算を10倍に拡充

外出自粛要請等により売り上げが減少している飲食店や宿泊施設等によるテイクアウトや新商品の開発などに対して、10万円(定額)の補助を当初500件分5000万円であったものを、影響の甚大さを考慮して6月補正予算で10倍の5000件分、5億円まで合計予算を拡充しました。

感染防止に対策に取り組む事業者への支援策を実現

第2波に備えて、感染防止と社会経済活動を両立させる取組の強化する必要性を訴え、事業者が積極的に進めることができるように、中小企業や商店街、ホテル、旅館などが従業員や顧客の感染防止対策に必要な経費を支援するため、6月の補正予算100億円以上計上されました。

「西宮統合新病院(仮称)」に感染症に対応した機能を整備する補完体制構築の推進!

コロナ禍において、阪神圏域では、尼崎医療センターの感染病床8床が対応したが、急性期医療を維持しながらの対応に切迫したことを受けて、6月定例会会派の代表質問で「西宮統合新病院(仮称)」において感染エリアと一般エリアを分離した感染症対応機能を持たせることを要望したところ、現在、地域医療機関や西宮市と協議し設計の基礎となる統合再編基本計画の見直しの検討が進められています。

議会費削減1億円で消毒ロボットを院内感染対策として県立病院に導入

6月定例会県議会で関係条例が改正案が全会派一致で可決し県議会議員(86人)の総意で議会費(期末手当、政務活動費、常任委員会費、議会運営費など)を削減して総額1億円で全県立病院9施設に消毒ロボットが8月下旬に導入されました。看護師が1部屋1時間かかる清掃が1回5分程度で消毒できて従事者の肉体的、精神的負担の軽減にも繋がり県立病院で大変喜ばれています。



竹尾ともえプロフィール

- 現在** 兵庫県議会 健康福祉常任委員会副委員長
マリン今津浜自治会役員
- 職歴** 私立音楽園幼稚園 / 西宮市立高須西幼稚園
西宮市立小松幼稚園 / 西宮市議会議員(2期)
- 経歴** 西宮市議会 厚生常任委員会委員長(平成26年度)
西宮市議会 総務常任委員会委員長(平成29年度)
- 資格** 幼稚園教諭2級普通免許 / 防災士 / ユニバーサルマナー検定2級



県政報告 2020 第1号 竹尾ともえ

あなたとともに、人と地域が輝くまちへ!



兵庫県議会議員 西宮市選出 現1期 / 公明党・県民会議議員団所属

令和3年度当初予算編成に対する「重要政策提言」を 兵庫県公明党・県民会議議員団13名で井戸知事、行政関係部局に提出致しました。

令和2年9月15日

各部局に33項目309の要望について重要政策として提言いたしました。「最重点要望事項」5点についてご紹介いたします。

1 新型コロナウイルスの影響を踏まえた 財政運営と事業の見直し

必要な施策には躊躇することなく短期的、中長期的な本県財政への影響を分析し、今後の財政運営について具体的な対処方針を明らかにすること。

2 認知症対策の大幅な強化

「認知症対策ひょうごモデル」として県が主導し市町とも連携して全県に展開すること。

3 重度障害者医療費助成事業における 訪問看護療養費の助成拡充

介護保険の対象年齢に達していない場合に、全国で唯一兵庫県のみ助成されていない重度障害者医療助成事業において、訪問看護療養費を助成対象に含めること。

4 県内産業の就労構造の転換支援

県内産業間での労働移転をスムーズに図る就労構造の転換支援を行うこと。

5 県行政のデジタル化の推進による 新しい行政の確立

県行政全般におけるDX(デジタルトランスフォーメーション)について、国が今後1年間をデジタル化の集中改革期間と位置づけ取り組む方針に準拠し、県民の利便性向上と県行政の効率化、革新に取り組むこと。



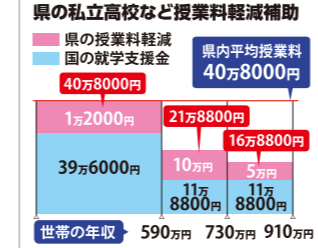
昨年の会派申し入れが2020年度の予算で実現しました! 内容一部抜粋



特殊詐欺防止! 簡易型警告・自動通話録音機「録音チュー」配布設置事業が今年9月から始まりました。

警察が検挙した特殊詐欺犯人グループのアポ電名簿に記載のあった65歳以上の高齢者宅を訪問し注意喚起を行うとともに無償で希望者に設置する事業です。

私立高校授業料の国支援制度に上乘した学費負担制度の創設。780,168千円



「不登校児童生徒を支援する民間施設に関するガイドライン」作成が実現しました! 519千円

教育機会確保法の施行を受け、多様な学びの場としてフリースクール等民間施設との連携強化を円滑に進めるために今年3月に策定されました。

- 食品ロス削減に向けたフードドライブ運動の推進。4,555千円
- 防災減災一周年顕彰するグリラ豪雨対策として、河川改修や浚渫工事を緊急対策として推進。24,851,000千円

令和3年度国に対する予算要望 赤羽国土交通相に「防災・減災国土強靱化3ヶ年緊急対策延長」「湾岸道路の予算の確保・促進」「GoToトラベルキャンペーン実施期間の延長」の要望書を提出致しました。

令和2年10月16日





第349回6月定例会で一般質問させていただきました。質問では、コロナ禍の現状と課題を見据えた第2波、第3波に備えた新型コロナウイルス感染拡大防止に対する対応について、健康福祉・防災・教育委員会などに対して6項目7問の質疑を行いました。内容を抜粋してご紹介申し上げます。

医療従事者以外の新型コロナ対策に尽力される方への基金による支援について

質問

第2波の感染拡大に備えて、現在主に医療従事者を想定している基金の支援対象をコロナ感染症対策に尽力される介護施設、保育所、放課後児童クラブ、障がい福祉サービス施設・事業所などの**社会福祉施設従事者にも拡大してはどうか**と考えるが、所見を伺う。

答弁 支援対象を直ちに社会福祉施設従事者等へ拡大することは、この基金の趣旨と取組の経緯、また寄附者の意思を踏まえると難しいのではないかと考えるが、**今回のコロナ対策で、具体的に患者対応で活動された方々もご指摘のようにおられるので、これらの方々に対する措置をどうするか別途検討したい。**

実現 支援について社会福祉施設従事者への慰労金として令和2年8月申請が開始されている。

ひょうご防災リーダーの感染症知識の向上と複合災害時の役割について

質問

新型コロナウイルス感染拡大の危険性がある中で複合災害に備えた避難体制づくりにおいて、兵庫防災リーダーに寄与してもらうために、今後どのように取り組むか。

答弁 今年度の講座では、新たに作成した「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドライン」を活用して避難所運営における受付レイアウトの検討やワークショップなども取り入れて感染症対策を盛り込んだ内容とする。フォローアップ研修の中で図上演習を行い、感染症対策を踏まえた避難所運営方法を確認する。研修テキストや動画作成も検討する。

実現 西播磨・淡路地域は9月、兵庫県広域防災センターは11月の「令和2年度ひょうご防災リーダー講座」で災害時要援護者対策、災害医療及び公衆衛生(感染症対策時の避難所運営ワークショップ含む)で実施される予定。

高齢者や障がい者等を守るための「テレビ面会」実施の体制整備について

質問

(1) 社会福祉施設における体制整備について
重症となる高齢者や障がい者などを守るために「テレビ面会」の実施体制の整備を進めてはどうか。このことはコロナ感染症対策だけでなく、インフルエンザなど他の感染症の流行時期にも利用できるため、未来への投資にもつながる。

答弁 一部の施設で取り組みが始まっているオンライン面会については、面会者からの感染リスクを排除しつつ、**入所者とその家族等がお互いの表情や様子をみながら面談することが可能で、非常に有用な取り組みである。**

実現 今回の補正予算案で1施設あたり50万円を支給して面会用タブレット等の物品購入を支援するほか、実際の導入事例や実施にあたっての留意点等、必要なノウハウの提供を合わせて行うことにより、オンライン面会の導入を希望する全ての施設への迅速かつ円滑な導入を進める。

質問

(2) 県立病院における体制整備について
高齢者でタブレットやスマホを所有していない人や重症化するなどにより使用できない人もおられる。また、患者と患者家族や医療従事者との間で感染防止対策のためにも「テレビ面会」実施の体制整備が必要ではないか。

答弁 県立病院では、厳しい面会制限を設けている、**こども病院の新生児集中治療室においては、ご家族が自宅にいなから、タブレット画面を通して、新生児の様子が見られるよう検討している。**一方、感染症指定医療機関の県立4病院では、タブレットを使用し、看護師等による患者の体調確認のほか、臨床心理士等による患者のメンタルチェックやサポートなどに活用している。これにより、**防護服等の着脱機会の減少による感染防止とともに、医療従事者の負担軽減にもつながっていく。**今後さらにタブレット導入も含めたICTの積極的な活用に取り組んでまいります。

コロナ感染症第2波への備えも含めた高齢者の介護予防について

質問

県内の状況を見ると、介護サービス受給者数22・7万人が機能低下のリスクに直面している。また、現在介護サービスを受けておられない高齢者の方でも、**外出自粛により体力低下等の進行が心配される。**高齢者の介護予防について第2波への備えも含め今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 第2波への備えについて、例えば**音楽療法を自宅等で受けられるよう効果的な実施方法を関係者と研究し国が示したオンライン「通いの場」アプリ等様々な資源の活用も促し外出自粛中でも介護予防の取り組みが継続されるよう支援していく。**また、今年度は新規に「**介護予防・生活支援マッチング事業**」を実施することとしている。多様な社会資源である**民間事業者・NPO等が「通いの場」を運営支援**していただき、活動内容の提案に関わり、魅力の向上を図っていただくことで、介護予防に取り組む高齢者の参加を促進していきたい。

学習の遅れ解消に向けた県の支援策について

質問

本年4月、文科省の調べでは、公立学校における休校中の学習方法(同時双方向型(教師と児童・生徒がテレビ会議システムなどを利用してリアルタイムに映像と音声をつないで授業する)の指導5%となり休業期間の学習を、子どもが理解できているか否かは、**学校が再開してみないとわかりにくい結果で学習の遅れ解消が重要です。また、長期の休校で児童生徒の心が不安定になり、不登校生徒の増加など心配され学習の遅れにも大きく影響を与えます。**今後どのように取り組もうとされているか。

答弁 6月になりましてSNSの悩み相談件数が増加している。各学校には、学校再開による不安を抱える児童生徒の状況を把握するため、登下校時の丁寧な健康観察、**本人・保護者への生活アンケートやストレスチェック等を実施**するように言っている。また、限られた時間内で児童生徒一人一人の学習の理解を深めるため、この度の補正予算の中で、①**非常勤講師の加配**による、少人数授業の充実、②**学習指導員の配置拡充**による、未指導分の補習等の支援、③**(株)サンテレビと連携をした家庭学習の支援**として、最終学年であります**小学校6年生と中学校3年生を対象に、つまずきやすいポイントを解説した学習支援番組制作を計上し、取り組んでいる。**加えて、**一人一台のGIGAスクール構想を進めるため、ICTの環境整備についても、各市町に対しましては、整備計画を前倒しするよう働きかけている。**

コメント 学習の遅れに対しての支援については、子ども達の心のケアが大切でスクールカウンセラーや教員の方が連携をして、心理的なストレス対処法について学ぶ機会を作ることも重要だと考える。



令和2年度予算特別委員会委員として質疑を行いました。財政・企画県民①・土木・教育の各部に質問いたしました。

令和2年3月

(財政状況について)

- 新型コロナウイルス感染拡大の当初予算への影響! 歳出ベースでは、医療面での対策、経済状況の悪化などにより、国同様の経済対策が必要となる。歳入ベースでも外出抑制やインバウンドの減少などによる企業業績の悪化やそれに伴う県税収入の減少など財政運営への影響に対して県の姿勢を伺いました。

(企画県民①)

- 私立高等学校の授業料軽減推進についてなど。(土木整備部)
- 河川総合対策の「津門川地下貯留管」の取組と効果について
- 国道176号名塩道路の早期完成に向けた取り組みについて
- 名神湾岸連絡線の今後の進め方についてなど。(教育委員会)
- 新型コロナウイルス感染症が学校に与える影響について
- ICT教育の推進について
- 実行性のある不登校児童生徒支援についてなど。

活動報告

2019年~2020年



健康福祉常任委員会
公立豊岡病院ドクターヘリ視察



兵庫県社会福祉審議会民生委員審査専門分科会の委員として審議させていただきました「令和元年度、民生委員・児童委員等 感謝祭授与式及び辞令交付式」兵庫県公館へ来賓として参加致しました。



令和2年1月17日兵庫県、秋篠宮様ご夫妻御出席の「1・17のつどいー阪神・淡路大震災25年追悼式典」に参列致しました。



「一般国道176号線 名塩道路 城山トンネル(仮称)着工式」が西宮市立塩瀬中学校体育館へ来賓として参加致しました。

赤羽かずよし国土交通大臣も越しになり176号線名塩道路は慢性的な渋滞の解消、交通安全確保に地元地域の皆様の長い間のご要望で昨年12月には名塩西トンネル、名塩八幡トンネルの前後区間(大西地区、尼子谷地区)を一部4車線が開放されました。そして、城山トンネル(仮称)工事がいよいよ着工となりました。



神戸市で「脳脊髄液減少症シンポジウム」認定NPO法人脳脊髄液減少症患者・家族支援協会(中井宏代表理事)主催に参加致しました。



神戸市、視覚障がい者を支援する「NPO法人アイトライツ協会」音声パソコン訓練の視察へ伊藤参議院議員と神戸沖久市議・伊丹山本市議と参加。



明石市「福祉のまちづくり研究所、家庭介護リハビリテーションセンター」健康福祉常任委員会



「兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター」開所記念式典に参加致しました。

この施設は、団体のお声を、谷井幹事長を中心に会派として要望しようやく阪神間に設置されました。更に訪問型のリハビリ「兵庫モデル」の構築の推進を要望して参ります。



阪神湾岸地域高速道路網整備促進県議会議員連盟で、六甲アイランド第三高架橋PE9下部工事現場視察を行いました。



兵庫県マスコット「はばタン」からのお願いです！

～発熱等があれば、まずは電話で相談を～

県では、発熱の症状があるなど新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの疑いがある場合、県民の皆様が診療・検査体制が整った地域の医療機関（発熱等診療・検査医療機関）で受診できるよう、適切な相談・診療・検査体制を整備しています。

■電話での相談・受診予約をお願いします

- 発熱等があれば、地域の医療機関（かかりつけ医等）にまずは電話で相談してください。
- かかりつけ医などがなく、相談先に迷う場合は、「発熱等受診・相談センター（健康福祉事務所・保健所等）」や「新型コロナ健康相談コールセンター」へご相談ください（裏面参照。県HPでも案内します）。
- 医療機関への受診について、連絡せずに、直接行くことは控えるようにしてください。

■発熱等診療・検査医療機関とは

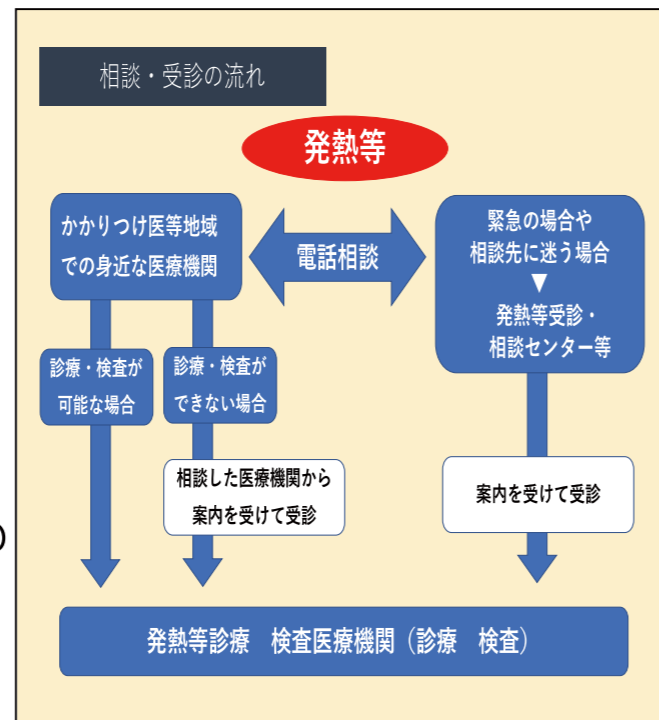
○院内の感染防止措置がとられている医療機関ですので、安心して受診してください。

■受診の際の留意点

- 受診の際には、必ずマスクを着用し、医療機関の指示に従ってください。
- 公共交通機関での来院は控えるようにしてください。

■適切な受診について

○過度な受診控えは、病状悪化のリスクを高めるため、持病を持っている方や体調がすぐれない方は、まずは、かかりつけ医に相談しましょう。



発熱等受診・相談センター（帰国者・接触者相談センター）

	相談対応時間	電話番号
新型コロナ健康相談コールセンター	24時間受付（土日祝日含む）	078-362-9980
芦屋健康福祉事務所	平日 9時00分～17時30分 ※上記以外の平日夜間（17時30分～9時00分）及び土日祝日は、新型コロナ健康相談コールセンターで対応 TEL：078-362-9980 FAX：078-362-9874	0797-32-0707
宝塚健康福祉事務所		0797-62-7304
伊丹健康福祉事務所		072-785-9437
加古川健康福祉事務所		079-422-0002
加東健康福祉事務所		0795-42-9436
中播磨健康福祉事務所		0790-22-1234
龍野健康福祉事務所		0791-63-5140
赤穂健康福祉事務所		0791-43-2321
豊岡健康福祉事務所		0796-26-3660
朝来健康福祉事務所		079-672-0555
丹波健康福祉事務所		0795-73-3765
洲本健康福祉事務所	0799-26-2062	
神戸市保健所	24時間受付（土日祝日含む）	078-322-6250
姫路市保健所	平日 9時00分～19時00分 土日祝 9時00分～17時00分	079-289-0055
尼崎市保健所	平日 9時00分～19時00分 土日祝日 9時00分～17時00分	06-4869-3015
西宮市保健所	土日祝日含む 8時45分～19時00分 ※11/1より下記のとおり時間変更 平日 9時00分～19時00分 土日祝 9時00分～17時00分	0798-26-2240
あかし保健所	平日・土日祝日 9時00分～20時00分 ※上記時間外でお急ぎの方は市役所代表（078-912-1111）へ	078-918-5439